

# これからも桜を愛するために

「河津」の名が付けられたその桜は、町民に限らず多くの人に愛されています。街に、彩りと賑わいをもたらす桜。

そんな桜が、街の安全を奪いかねないなんて。毎日のにぎわいか、災害時の安全か。

あなたなら、どちらを選びますか。

写真：河津町観光ホームページより

3月号



みらいズ

下田土木事務所

〒415-0016 静岡県下田市中531番地の1  
E-mail: shimodo-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

TEL: 0558-24-2113  
FAX: 0558-24-2123



写真：河津町観光協会ホームページより

# 観光と桜

河津桜は町民みんなの誇りであり、街のシンボリックな存在。

今年の桜まつりは中止でしたが、例年なら100万人近くが訪れる、地域を代表するお祭りです。

街ににぎわいをもたらす桜。

みんな、この桜が大好きです。



写真：河津町観光協会ホームページより

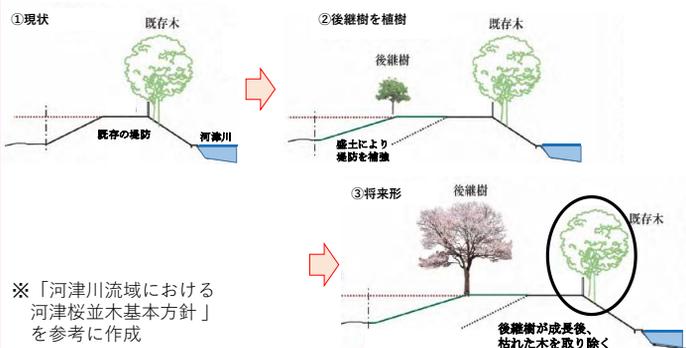


写真：「千曲川堤防調査委員会報告書」より  
台風19号の大雨による増水で決壊した堤防

川沿いに植えられた桜の中には、植樹後45年が経過している桜もあり、老木化が心配されています。堤防にあった桜が枯れてしまうと、根が生えていた場所に空洞ができ、大雨が降ると壊れやすい堤防になってしまいます。

# 安全と桜

では、どうするか。  
私たちは、何をすべきか。



## どボクのみらい！ Vol.5

土屋 悟史

Satoshi TSUCHIYA

河津町産業振興課

お気に入りスポット  
：涅槃堂からの桜並木



桜の樹勢や、病気になっていないかなどを確認中。1年でも長く、桜を未来に受け継いでいきたいから。

「自分が小さい頃に始まった桜まつり。その時期になるといつも、街のにぎわいを肌で感じていた。町の桜の担当として2年間、もちろん大変なことも多かったけど、美しく咲いた桜を見ると嬉しいし、疲れも吹き飛んでしまう。町職員として、そして自らも1人の町民として、未来の子どもたちにも絶対に見せてあげたい。小さい頃大好きだった、この河津らしい風景を。」

県は、町や地元代表、専門家の方と一緒に、これからの河津桜の整備方針を定めました。

これは、堤防に影響のない場所に、新しい桜の木を植え、その生育状況を見極めつつ、枯れてしまった桜は取り除いていく、というものです。堤防の強度も維持しつつ、これからもずっと、満開の桜を楽しむための計画です。

にぎわいも、安全も、どちらも大切だから。